

近年やや数を減らしているスズメですが、シジュウカラ、ムクドリ、ヒヨドリなどと並んで、都会でも山間地でもよく目にする野鳥と言えるでしょう。

スズメは狭いすき間に営巣します。瓦のすき間、屋根と壁のすき間など、ほんの数cmのすき間に、枯れ草（主にイネ科の植物）を運び込んで、「壺状」の巣をつくります。シジュウカラのような樹洞性営巣の野鳥に比べて、巣を造れる場所が多く、ヘビの来襲も少ないのが特徴です。

雛の姿はなかなか見えませんが、声はよく聞こえます。今回の動画は、北軽井沢の行きつけのレストランの軒下にあるスズメの巣です。お店の人は「ハクセキレイの巣です」と言っていたのですが、ビデオカメラの映像を確認して「スズメ」と判明しました。

（2023年6月下旬／北軽井沢で撮影）

